

平成 28 年度 一般財団法人大阪消防振興協会 事業計画
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

防災技術の指導、知識の普及、防災・救急に関する意識と行動力の向上を図るための事業及び防火・防災の普及啓発に関して、自衛消防業務講習など各種講習の開催や普及啓発用品、防災専門図書の販売などの事業を実施する。

(1) 自主防災指導事業

防火対象物（消防法第 2 条第 2 項に規定する防火対象物をいう。以下「防火対象物」という。）の関係者等に対して防火・防災に関する知識及び技術の指導並びに自主的な検査の促進

ア 防災指導

自主防災指導対象物実施件数 13,000 件

イ 自主検査通知業務及び電話指導

自主検査通知対象物実施件数 13,000 件

(2) 消防訓練指導事業

防火対象物の関係者等に対し、消防訓練指導業務を通じ、災害が発生した場合に的確に対処できる知識及び技術の指導

自主訓練指導及び実地指導

訓練指導対象物件数 6,500 件

(内 実地指導対象物件数 3,250 件)

(3) 応急手当普及啓発事業

心肺蘇生法等の応急手当に関する知識と技術の普及啓発により、傷病者の救命率の向上と市民等の自主救護能力の向上を図るため各種講習会を開催

ア 市民及び市内在勤者を対象とした救命講習

(ア) 救命入門コース

実施回数 25 回

(イ) 普通救命講習

実施回数 I = 420 回

II = 4 回

III = 4 回

(ウ) 上級救命講習

実施回数 65 回

(エ) 応急手当普及員講習

実施回数 新規講習 = 27 回

再講習 = 45 回

イ 患者等搬送乗務員講習（患者搬送事業者の乗務員を対象とした救命講習）

実施回数 基礎講習 = 2 回

定期講習 = 4 回

(4) 阿倍野防災センター事業

施設を効果的・効率的に活用し、創意工夫により質の高い防災知識技術を普及し、自助・共助による防災・減災体制の強化を目指した管理運営

ア 年間来館者数 目標＝15万人

イ 防災体験学習エリア及び防災訓練研修エリア体験者のうち「体験したことを自分で職場や家庭で活かしたい」と答えた体験者の割合 目標＝全体験者の80%以上

(5) 普及啓発事業

ア (一財)日本消防設備安全センターからの講習受託事業

(ア) 自衛消防業務講習の実施

新規講習 (14時間) 36回

再講習 (5時間) 18回

(イ) 防火対象物点検資格者講習の実施

本講習 (20時間) 2回

再講習 (5時間) 2回

(ウ) 防災管理点検資格者講習の実施

本講習 (9時間) 2回

再講習 (2時間) 2回

イ 独自事業

防災講演会の開催、住宅防火対策や火災予防運動等の啓発行事への協賛

- ・ 6月 第29回アジア消防長協会総会 (IFCAA 2016 OSAKA) 協賛
- ・ 9月 住宅防火啓発ポスター協賛
- ・ 11月 2017おおさかのしょうぼうカレンダー協賛
- ・ 2月 「防災講演会2017」開催

(6) 普及資材等販売事業

ア 普及啓発用品、防火防災用品の斡旋販売

イ 秋・春の全国火災予防運動啓発資材の販売

ウ 防災専門図書の販売

エ 消防職員礼服貸出